

# 第1学年 道徳学習指導案

日時 平成16年11月 9日(火) 授業  
学級 1年1組 男14名 女10名 計24名  
授業者 菊池久子

総合単元名 あたたかいところをとどけよう

総合単元のねらい

誰に対しても温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。

総合単元的な道徳学習の構想について

この時期の子どもたちは、学校生活に慣れ、仲のよい友達もできて活発に遊ぶようになっている。また、友達に元気がないと励ましてあげるなど、やさしい気持ちをもっている。しかし、まだ自己中心的な行動が目立ち、自分のことに精一杯で相手にやさしく助け合うことができないときもある。よい人間関係や友達関係を築くには、やさしい気持ちをもってお互いを思いやり、親切にしていこうとする心情を育てることが大切であると思い、総合単元として「あたたかいところをとどけよう」を設定した。

子どもたちは、これまで帰りの会で「今日のはなまるさん」としてよかったことを発表し、積極的に友達のよさを見つけようとしてきた。本単元では、「出会う」の段階で、オリエンテーション「ともだちといっしょ」や集団遊びなどを通して、みんなで活動するよさについて方向付けをする。道徳の授業では、身近な友達に親切にし、仲良くしていこうとする気持ちをもたせ、「深める」につなげていきたい。「深める」の段階では、「親切の木」の取り組みを通して、友達への親切を広めていけるようにする。道徳の授業では、相手の立場になって考えやさしくしたり親切にしたりすることが、相手を快い気持ちにするだけでなく、自分にとっても喜びとなることに気付かせ、身近な人たちに思いやりをもって接していこうとする心情を育てていきたい。それをもとに「生かす」の段階では、幼稚園児との交流や家族を招待する収穫祭に取り組みさせていく中で、誰に対しても温かい心で接し、親切にしようとする実践な態度を身につけさせていきたいと考えた。

子どもたちの「思いやり・親切」に関わる実態を知るために、意識調査を行った。結果は、以下の通りである。

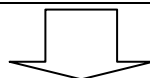
「思いやり・親切」に関する意識調査(調査人数：1年生49名)

- 1 人から親切にしてもらったことがありますか。  
ある 47人 ない 2人
- 2 誰からどんなことをしてもらいましたか。(複数回答可)  
<誰から> 友達 43人 家族 4人 先生 2人  
<どんなこと> 物を持ってもらった 10人 けがをした時助けてもらった 7人  
遊んでもらった 7人 片付けの手伝いをしてもらった 4人  
勉強を教えてもらった 4人 励ましてもらった 3人 など
- 3 自分は誰かに親切にしたことがありますか。  
ある 40人 ない 9人
- 4 誰にどんなことをしましたか。(複数回答可)  
<誰に> 友達 34人 家族 5人 おばさん 1人  
<どんなこと> できないことを手伝った 7人 落としたものを拾った 7人  
遊んだ 6人 励ました 4人 物を貸した 4人 など

意識調査から、人から親切にしてもらったことがあると答えた児童がほとんどであったが、自分が誰かに親切にした意識は若干低いことが分かった。やさしくしてもらったり、やさしくしてあげたりした経験は比較的多いものの、それが本当に相手を思いやる気持ちからの行動とは言えない部分がある。また、親切にしたことやされたことがないと答えた児童やその内容を記述できなかった児童は、「人に親切にする」ということが具体的にどうすることなのか想起することができないために、人に親切にしようとする意識も薄いと考えられる。

総合単元の構想

段階	時期	意識の流れ	教科	特別活動	日常生活	家庭・地域
出 会 う	10月 4週	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達っていいな。</li> <li>みんなで一緒に遊んだり、勉強したりするのが楽しいな。</li> <li>みんなにほめられるとうれしいな。</li> </ul>	<b>オリエンテーション「ともだちといっしょ」</b> 友達との活動の写真を配置したページから、友達のよさ、楽しさ、大切さを感じ取らせる。(心のノート P38-39)			
	11月 2週	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達が困っているときには助けてあげよう。</li> <li>友達の気持ちを考えてやさしくしてあげたいな。</li> <li>友達がやさしくしてくれたよ。みんなにも教えたいな。</li> </ul>	<b>国語「くじらぐも」</b> ・学級の友達と集団で喜びを共感する楽しさを味わわせる。	<b>学級活動(ほめられるとうれしいね)</b> ・エンカウンター(活動を通して、友達や自分のよさを積極的に見つけ、仲よくしていこうという気持ちをもたせる。	<b>休み時間(集団遊び)</b> ・長縄跳びやごっこ遊びを通して集団で仲よく遊ぶ楽しさを味わわせる。	<b>心のノート P40-41</b> ・友達からの励ましの言葉を記録することによって、友達のよさを感じ取らせる。
	11月 4週	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達はもちろん、小さな子にもやさしくしようね。</li> <li>困っている人が助かって喜んでいっているのを見ると、自分もうれしくなるね。</li> <li>自分だけでなく小さい子にも楽しんでもらおう。</li> <li>家族のみんなにも楽しんでもらおう。</li> </ul>	<b>道徳の時間(本時)</b> 主題名 友達を思う心 2-(3)友情・信頼、助け合い 資料名 「二わのことり」(出典：学研) ねらい 友達同士互いに思いやりをもち、仲よくしていこうとする心情を育てる。			
深 め る	11月 2週	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達がやさしくしてくれたよ。みんなにも教えたいな。</li> </ul>	<b>生活「できるよになったよ」</b> ・幼稚園を訪問し自分達の成長を伝えるとともに、小さい子のお世話をさせる。	<b>親切の木</b> ・お互いのよさを見つけ、認め合えるようにさせる。	<b>心のノート P34-35</b> ・身近な人たちにどのようなことができるかを考え、交流活動への意欲を高めさせる。	
	11月 4週	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達はもちろん、小さな子にもやさしくしようね。</li> <li>困っている人が助かって喜んでいっているのを見ると、自分もうれしくなるね。</li> <li>自分だけでなく小さい子にも楽しんでもらおう。</li> <li>家族のみんなにも楽しんでもらおう。</li> </ul>	<b>道徳の時間</b> 主題名 親切な心で 2-(2)思いやり、親切 資料名 「はしのうえのおおかみ」(出典：東書) ねらい 身近な人たちに温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。			
	11月 4週	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達はもちろん、小さな子にもやさしくしようね。</li> <li>困っている人が助かって喜んでいっているのを見ると、自分もうれしくなるね。</li> <li>自分だけでなく小さい子にも楽しんでもらおう。</li> <li>家族のみんなにも楽しんでもらおう。</li> </ul>	<b>生活科「年長組さんを招待しよう」</b> ・年下の子どもたちと思いやりのある態度で交流できるように取り組ませる。	<b>学級活動「収穫祭の計画を立てよう」</b> ・招待する家族のことを考えて、みんなが楽しめるように準備させる。	<b>心のノート P36-37</b> ・家族から励ましの言葉をいただき、温かい心のもった行いをしようとする意欲を高める。	
生 か す	11月 4週	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達はもちろん、小さな子にもやさしくしようね。</li> <li>困っている人が助かって喜んでいっているのを見ると、自分もうれしくなるね。</li> <li>自分だけでなく小さい子にも楽しんでもらおう。</li> <li>家族のみんなにも楽しんでもらおう。</li> </ul>	<b>学級活動「収穫のお祝いをしよう」</b> ・収穫祭を通して、温かい心でみんなと仲よく生活するよさを感じ取らせる。			



身近な人たちとあたたかい心で接するやさしい子ども

## 本時の指導

- 1 主題名 友達を思う心 2 - ( 3 ) 友情・信頼、助け合い
- 2 資料名 「二わのことり」( 出典 : 「みんなのどうとく」学研 )
- 3 ねらい 友達同士互いに思いやりをもち、仲よくしていこうとする心情を育てる。

## 4、主題設定の理由

### ( 1 ) ねらいとする価値について

指導内容・低学年の 2 - ( 3 ) は、「友達と仲よくし、助け合う。」である。これは、友達関係において基本とすべき精神を述べたものであり、友達との間に信頼と友情及び助け合いの精神をもった児童を育てようとする内容項目である。

よい友達関係を築くには、互いに認め合い、学習活動や生活の中の様々な場面で助け合い理解し合い、信頼感や友情を育てることが必要である。低学年では、集団生活の中での心配や不安を解消させ、学校生活を楽しいものにするためにも温かい人間関係に満ちた仲間作りが何より大切である。

この時期の児童は、友達と仲よくしなければならぬと分かっているにもかかわらず、一時的な感情や自己中心的な考えが先に立ってしまい、けんかになってしまうことがよくある。「自分がよければいい」「自分がこうしたい」という考えを見直し、「友達がどうしたいのか」を考えてから行動することが、友達と仲よく過ごすために大切なことだと気付かせたい。

そこで、本時は「出会う段階」の「道徳の時間」として身近な友達と仲よく助け合う気持ちや、友達を信頼し友情を育てる心情を育てることが大切であると考え、本主題を設定した。

### ( 2 ) 児童の実態について

子どもたちは、「友達と仲よくしよう、困っているときは助けてあげよう。」という言葉を受止め、友達が物を落としたときに拾ってあげたり、学習用具を忘れたときは貸してあげたり、具合の悪い子やけがをした子を保健室に連れて行ったりしている。しかし、遊びに夢中になっているときやグループで仕事や学習をしているときにはささいなことがもとでけんかが起こったり、いじわるなことをしてしまったりすることがある。これらのことは、自己中心的な考えであり、相手の気持ちを考えようとする意識が弱いためだと考えられる。また、困っているときに助けてもらうことや、周りの人が自分に何かをしてくれることに慣れているため、そのことを当然のように考え、友達がしてくれたことのよさに気付かないこともある。

そこで、この資料を通し、「友達と仲よくすることのすばらしさ」「互いに思いやることの大切さ」に気付かせ、相手の立場や気持ちになって仲よく生活しようとする気持ちを育てたい。

### ( 3 ) 資料について

本資料は山奥の寂しい家に住んでいるやまがらの誕生会と、明るくきれいなうぐいすの家での音楽会の練習がかちあい、一度はみんなといっしょにうぐいすの家に行ったみそさざいが思い直してやまがらの家にかけてくれるという内容である。物語の状況として、やまがらの家とうぐいすの家が対照的に描かれており、主人公のみそさざいがどちらへ行くのか子どもたちが興味をもって考えることができる筋立てになっている。また、誕生会にだれも来てくれないやまがらの寂しい気持ちや友達を思いやって行動するみそさざいの素晴らしさにも共感的に理解することができるであろう。

やまがらが喜ぶ様子を見て、友達の喜びがみそさざいの喜びにもつながっていることをとらえることによって、友達を思いやって行動することの尊さを感じることが出来る資料ある。

## 5、「心に響く道徳の時間」における指導法の工夫（仮説・・・手立て2とのかかわり）

ねらいに迫るために、次のような手立てを考えた。

< 資料活用の工夫 >

・展開前段で、資料を紙芝居形式で提示することで、あらすじを分かりやすくとらえさせたい。

< 表現活動を取り入れた展開の工夫 >

・やまがらの家に行った場面でのやまがらとみそさざいの役割演技を取り入れることによって、仲間の喜びが自分の喜びになることをとらえさせたい。

6 資料分析

場 面	登場人物の心の動き	子どもの意識	発問の意図 / 発問
<p>やまがらの誕生会とうぐいすの家での音楽会練習が重なった。小鳥たちは明るくきれいなうぐいすの家に飛んで行く。みそさざいも迷ったが、みんなのいるうぐいすの家に行った。</p>	<p>(みそさざい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どっちにいかうかな。</li> <li>・誕生会にはだれも行かないのかな。</li> <li>・みんなと一緒にいこうかな。</li> <li>・明るいうぐいすさんの家はきっと楽しいだろうな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生会に行った方がいいと思うけど、やまがらさんの家は遠いから近くて明るいうぐいすさんの家がいいな。</li> <li>・練習の日が違う日だといいのに。</li> <li>・楽しそうだからみんなと一緒にいこう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みそさざいの迷いに共感させるとともに、周りに流されてしまった弱い気持ちに共感させる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>うぐいすの家に飛んで行くことりたちを見ながら、みそさざいはどんなことを考えていたでしょう。</p> </div>
<p>うぐいすの家で楽しんでいたみそさざいだが、やまがらのことが気になり出す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しいけどやまがらさんはどうしているかな。</li> <li>・みんながうぐいすさんの家に来たから、やまがらさんは一人ぼっちだな。</li> <li>・誕生日に一人ぼっちでいるのは寂しいだろう。</li> <li>・自分たちだけ楽しんでいていいのかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うぐいすの家は楽しいけど、やまがらさんは一人で過ごしているんだな。</li> <li>・やまがらさんはだれかがお祝いに来てくれるのを待っているんだろうな。</li> <li>・誕生日に一人ぼっちでいるのはきっとさびしいだろうな。</li> <li>・自分たちだけ楽しんでいていいのかな。でも、ぬけるのももったいないな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんな楽しく過ごしている様子をおさえさせる。</li> <li>・一人ぼっちでいるやまがらを思い、楽しめなくなっているみそさざいの気持ちに共感させる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>うぐいすの家でみそさざいはどんなことを思っていたでしょう。</p> </div>
<p>みそさざいは、うぐいすの家をそっとぬけ出し、やまがらの家へ飛んでいく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やまがらさん、いま行くからね。</li> <li>・せっかくの誕生日にさびしい思いをさせてごめんね。</li> <li>・友達だもの。ぼく一人でも行くよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やっぱり行こう。</li> <li>・きっと待っているから早く行ってあげなくては。</li> <li>・やまがらさんも大切な友達だからお祝いをしてあげよう。</li> <li>・友達にさびしい思いをさせられないよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達のことを考え行動するみそさざいの気持ちの変容に気付かせる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>みそさざいはどんなことを考えながらやまがらの家へ飛んでいったのでしょうか。</p> </div>
<p>やまがらが目に涙を浮かべて喜ぶ姿を見て、みそさざいも喜ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やっぱり来てよかった。</li> <li>・やまがらさんが喜んでくれてうれしい。</li> <li>・仲間が喜んでくれるってうれしいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ぼっちでかわいそうだったな。</li> <li>・こんなに喜んでくれるなんて。</li> <li>・一人ぼっちのままにしないでよかった。</li> <li>・本当に来てよかったなあ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間を思いやる自分の行動が相手を喜ばせ、そのことが自分の喜びにもなることを感じ取らせる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>やまがらが喜ぶ様子を見て、みそさざいはなんと思ったでしょう。</p> </div>

7、展開

段階	学習の流れ	予想される児童の反応	支援の手立てと評価の観点
導入 5分	1 集団遊びでの楽しかったことを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鬼ごっこをして楽しかった。</li> <li>・長縄跳びがみんなできてよかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団遊びでの楽しかったこと振り返り、ねらいとする価値への方向付けをする。</li> </ul>
展開 前 段	2 資料「二わのことり」を読み、話し合う。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙芝居形式で資料を提示し、あらすじをわかりやすくおさえさせる。</li> <li>・やまがらとうぐいすの家を比較し、うぐいすの家に行きたくない気持ちに共感させる。</li> <li>・招待されている誕生日会にいったほうがいいのか迷いながらもみんなと同調してしまうみそさざいの弱い気持ちに共感させる。</li> <li>・みんなで楽しくすごす様子を自分たちの経験と重ね合わせながら想起させる。</li> <li>・一人ぼっちでいるやまがらを思うと楽しめなくなっているが、楽しいうぐいすの家からも去り難いみそさざいの揺れ動く気持ちに共感させる。</li> <li>・自分の楽しさではなく、友達のことを考えて行動するみそさざいの気持ちの変容に気付かせる。</li> <li>・役割演技を取り入れ、仲間を思いやる行動が相手を喜ばせそのことが自分の喜びにもなることを感じ取らせる。 (評) やまがらを思い、行動したみそさざいの気持ちをとらえることができたか。</li> </ul>
	うぐいすの家に飛んでいくことりたちを見ながら、みそさざいはどんなことを考えていたでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どっちにいこうかな。</li> <li>・招待されたから誕生日会に行ったほうがいいかな。</li> <li>・やまがらさんの家は遠いな。</li> <li>・うぐいすさんの家の方が近くて明るくてみんなもいて楽しそうだな。</li> </ul>	
	うぐいすの家でみそさざいはどんなことを思っていたでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんながうぐいすさんの家にきたからやまがらさんは一人ぼっちだな。</li> <li>・誕生日に一人ぼっちはさびしいだろうな。</li> <li>・自分たちだけで楽しんでいていいのかな。でも、ぬけるのももったいないな。</li> </ul>	
	みそさざいは、どんなことを考えながらやまがらの家へ飛んで行ったのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やまがらさんは一人で待っているんだろうな。</li> <li>・せっかくの誕生日にひとりぼっちにさせてごめんね。</li> <li>・友達だもの。ぼく一人でも行くよ。</li> </ul>	
	涙を浮かべて喜ぶやまがらを見て、みそさざいはなんと思ったのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ぼっちにしてごめんね。</li> <li>・やっぱり来てよかった。</li> <li>・やまがらさんがこんなに喜んでくれてうれしい。</li> <li>・友達が喜んでくれるってうれしいな。</li> </ul>	
25分			
展開 後 段 10分	3 本時の価値に照らして、これまでの自分を振り返る。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの行動を振り返らせながら、今後の実践へと結び付けさせたい。</li> <li>(評) 本時の価値を今までの自分と照らし合わせて自分を見つめることができたか。</li> </ul>
	友達のことを考えて仲良くしたり、助けられたりしたことなどにどんなことがありますか。みそさざいさんに手紙を書いて教えてあげましょう。		
終 末 5分	4 教師の話を書く。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こころのノートの記述の中から友達への思いやりのある行為を紹介し、今後の実践への意欲付けをしたい。</li> </ul>

8、評価

友達同士互いに思いやりをもち、仲よくしていこうとする気持ちが高まったか。

ともだちのこと

## 二わのじとり

絵

ともだちのきもちをかんがえる。

絵

うぐいすさんのうちへいこう

- ・ やまがらさんはたんじょうび。
- ・ やまがらさんのいえはとおい。
- ・ うぐいすさんのいえはあかるい。
- ・ みんながいくからぼくもいこう。

絵

うぐいすのうち

- ・ たのしいな。

絵

よかったのかな

- ・ やまがらさんはひとりだ。
- ・ たんじょうびなのに。
- ・ じぶんだけたのしんでいていいのかな。

絵

やまがらさんのうちにいこう

- ・ まつていてね。
- ・ ごめんね。一人ぼっちにして。
- ・ ともだちだもの。ぼくがいくよ。

絵

やまがらくん、おいわいにきましたよ

- ・ やっぱりきてよかった。
- ・ やまがらさんがよろこんでくれてうれしい。
- ・ ともだちがよろこぶとじぶんもうれしいな。

10 道徳ノート

どうとくノート

うなずきながらきけた		
まあまあ		
もうすこし		

### 「二わのじとり」

ともだちにのことをかんがえてなかよくしたりたすけたりしたこと  
にどんなことがありますか。みそさざいさんにてががいをかいておし  
えてあげましょう。

---

---

---

---

---

---

---

---

なまえ